

\*本資料は、JANPIA が資金分配団体の公募資料として作成したものです。休眠預金活用事業においては、包括的支援プログラム（以下、「事業」と呼ぶ）を設計することが求められており、本資料は、そのプログラムの設計に必要な、把握しておきたい情報を整理するためにご活用いただくことを目的に作成されています（①社会課題の本質的な要因を把握する ②社会課題と提案する事業の関係性を把握する ③事業の道筋を把握する）。

\*本資料は、実行団体の公募においても事業設計に参考となる資料として、①団体内部・関係者間のコミュニケーションツール（ロジックの確認、検証、合意形成）として活用する、②資金分配団体との「個別相談」時に活用する、③申請時に補足資料として活用する、といったことが考えられます。応募を検討する上で、ご活用ください。

**Step1 対象とする社会課題を深堀する**

**Step2 事業で取り組む内容を決める**

**Step3 事業設計図を描く**

① 取り組む課題は何ですか？現状を簡潔に一文で示してみましょう。

② その社会課題によってどこ、誰が、どのような問題を抱えていますか？さらに具体化してみましょう。

③ 支援対象地域にどのくらい困っている人がいますか？

④ なぜ、社会課題は存続し続けているのでしょうか？要因は何ですか？

⑤ 課題の解決を目指す上で重要な関係者は誰ですか？

① 団体の強みは何ですか？

② 事業によって最も良い変化を起こしたい人（＝受益者）は誰ですか？

- ・受益者
- ・事業で対象とする受益者の人数イメージ

③ 受益者のどのような変化を目指しますか？

目指す変化は、社会課題の原因への対応策になっているか確認しましょう。

④ どのような実行団体/ステークホルダーを想定していますか？

- ・想定する実行団体/ステークホルダー
- ・対象地域で候補となり得る連携機関数

⑤ 事業を実施するためにはどのようなリソース（人、物、金、情報及び専門性など）が必要ですか？

① 〈実現したい社会の状態（長期アウトカム）〉

② 〈事業終了3～5年後に実現したい状態（中期アウトカム）〉

誰（どこ）が、どんな状態になることを目指し、実行団体はコミットメントしますか。

受益者の状態	(実行団体の状態)	対象地域の状態

③ 〈事業終了時までには実現する状態（短期アウトカム）〉

上記に設定した目標状態を達成するために必要な「前提条件」は何ですか。

受益者の状態	(実行団体/ステークホルダー等の状態)	対象地域の状態

④ 〈想定する実行団体の活動〉